

## 第1回検討会以降の状況について

令和 6年	11月25日	第1回「車両基地跡地広域交流拠点施設整備検討会」
	12月 2日	松山コンサートホールを創る会からコンサートホール建設に関する要望書
	12月13日	J R松山駅周辺を含む松山城周辺地域が都市再生緊急整備地域に指定される
	12月21日	第1回ワークショップ開催
令和 7年	1月	需要調査、民間意向把握調査開始
	2月 4日	第2回「車両基地跡地広域交流拠点施設整備検討会」
	2月 8日	第2回ワークショップ開催（予定）

## 第1回検討会の意見

分類		内容
1. 施設の概要	規模	・Bリーグの会場として5,000席規模のアリーナは必要として、興行の観点からの検討も必要である。
	仕様	<p>・5,000席のアリーナは全国で作られているため、現時点の想定をたたき台にし、知恵を出しながら、松山にしかない施設の特徴を出すのが良い。</p> <p>・観客に使いやすく設計すべきであり、観客の動線や物販スペースの確保も重要である。</p> <p>・イベント企画者が使いやすいように、搬出と搬入が素早く行える施設にすることが大切である。</p>
2. 敷地の外部環境	周辺エリア等との連携	<p>・本敷地は面積的に素早い搬入・搬出が厳しい可能性があるため、周辺の活用も踏まえた工夫をするべきである。</p> <p>・候補地だけでなく、他のエリアとの連携の検討が必要である。さらに、駅周辺だけでなく、市内全域を視野に入れたまちづくりの観点が大切である。</p> <p>・スポーツイベント等で集客した場合、周辺の宿泊施設の検討も必要である。</p>
	立地・交通アクセス	<p>・駐車場の配置や周辺の道路網の検討が必要である。</p> <p>・松山駅近くなのに車が前提でいいのか。JRの駅前という立地条件を最大限に活かすための必要な機能について、話し合う必要がある。</p>
3. 施設の利用見込	稼働率	<p>・建築後の利用や運営を考慮することが重要である。</p> <p>・Bリーグがない時期のイベント誘致については、都市間・施設間競争も踏まえて選ばれる施設を目指す必要がある。</p>
	地域活動の活性化	<p>・人口減少が進む中での地域活性化には、交流人口や市民のコミュニティの場が必要であり、そのためには文化とスポーツが垣根を越えて力を合わせるべきである。</p> <p>・地元企業が参画しやすい事業にする必要がある。</p>
4. その他	市民会館機能	・市民会館閉館に伴う市民活動の場が無くならないようにしてほしい。
	公民連携	・内閣府の「スタジアム・アリーナに係るコンセッション事業活用ガイドライン」における15の論点を踏まえて検討すること。

# 第1回ワークショップ報告

開催日 : 令和6年12月21日(土)  
 開催場所 : 松山センタービル4階 第1会議室  
 参加者数 : 29名  
 テーマ : ①松山のスポーツや文化の「誇り」「じまん」ってなんですか?  
 ②ここで「やりたいこと」をスケジュールに書いてみよう!

## 結果抜粋

### ①松山のスポーツや文化の「誇り」「じまん」

スポーツが盛んであること、俳句・文学や能、小劇場演劇が盛んであることなどがあげられました。

#### スポーツ

- ・野球が盛ん
- ・スポーツを楽しむ人が多い
- ・プロスポーツ(サッカー、バスケ)がある
- ・スポーツ施設の設備の良さ
- ・ジュニアスポーツの支援が手厚い

#### 文化

- ・俳句、正岡子規
- ・「坊っちゃん」、「坂の上の雲」
- ・「市民全員が文化人」、アーティストが多い
- ・能が盛んで、能舞台付き小ホールがある
- ・小劇場演劇の劇団が多く、公演も多い

### ②ここで「やりたいこと」

#### ①アリーナ

規模の大きさを活かした大規模なイベント・コンサートや、多くの人に参加するイベントなどがあげられました。

#### ②ホール

小規模な発表、公演といった市民の発表等を想起させるものから、クラシックの公演、著名人のコンサートなど、中規模～大規模かつ本格的な公演まで幅広い意見があげられました。

#### ③その他の施設

学生や子育て世代などの交流を求める声がみられました。

次回開催予定 : 令和7年2月8日(土) 14時～  
 開催テーマ : 「やりたいこと」を実現する空間、備品を考えよう!



# ヒアリングの経過報告: 需要に関するヒアリング結果

- プロモーター、MICE企画会社、市内MICE関係団体、市内クラブ、Bリーグ、先進アリーナ運営者等に対し、新施設での利用可能性及び利用するための必要条件を確認（実施中）
- 主な意見を抜粋

## エンタメ興行関係者

### アリーナツアー誘致に必要な規模

- ・ エンドステージ型のレイアウトで8,000席、できれば10,000席あれば誘致しやすい。
- ・ 5,000席で勝負してもいいのではないか。ブロック制でスタンディングにするなど、席数以上に客を入れられる。
- ・ アリーナツアーは舞台を設営する部材から全部持っていくため、5,000席では採算面で厳しい部分がある。

### その他、新施設や周辺に求める機能

- ・ トラックやフォークリフトが中に入れるように。ステージ横で荷下ろしできるといい。
- ・ 11tトラックが何十台とくる。駐車場所が敷地外でもいいので必要。
- ・ サブアリーナでグッズが販売できるとよい。
- ・ ホテルが近接していることが望ましい。大街道等に宿泊する場合、スタッフの移動に送迎バスなどの支援があれば望ましい。
- ・ 予約が早い段階からできると使いやすい。
- ・ 中継車用の電源など豊富な電源設備が必要。

### アリーナツアーの開催需要

- ・ アリーナツアー1本あたりの中四国開催件数は1~2件。広島のみ、もしくは広島ともう1か所。四国だけでいうならば1か所。
- ・ これまでは広島グリーンアリーナ、アスティとくしまがアリーナツアーの選択肢だったが、中四国の整備ラッシュでどうなるか。
- ・ 8,000席以上のアリーナが整備されたら、ツアー利用は年6~7件ではないか。

# ヒアリングの経過報告: 需要に関するヒアリング結果

## MICE関係者

### MICE誘致に必要な機能

- ・ 医学系学会ではスクール形式の分科会場が複数(100人収容×10室ぐらい)設けられることが必要。工学系学会では重量物の展示などのニーズが加わる。
- ・ 2,000～3,000人規模の学会に対応しようとする場合、200～300㎡の会議室が5～6部屋必要。
- ・ 徒歩圏にあるコミュニティセンター併用の開催はありえる。
- ・ ハイブリッド開催や現地利用を含め、インターネット環境は必須。
- ・ 見本市、展示会では客席数は不問。表彰式などインセンティブ利用については、表彰式と懇親会に分けて併催できたりするとよい。
- ・ 外資系ホテルがあると、国際MICEやVIP対応もできる。

### MICE需要の現状と課題

- ・ 今年度、まだ途中ではあるが市内のMICE実施状況は110件程度。昨年度(72件)より伸びているが、コロナ前の140件までは戻っていない。  
来場者数は50名～5,000名までさまざま。
- ・ 市内での大規模な学会は現在年3本程度とみている。
- ・ オンラインとのハイブリッド開催は定着しているが、リアル参加が相当戻っている。
- ・ 現在、市内の展示会は多くない。また小規模である。アイテムえひめで開催することもある。
- ・ 展示会は客席を使わないため、床面積の大きさが判断基準となる。その価値観において、アリーナは床面積当たりの料金が高くなってしまったため選択されづらい。

# ヒアリングの経過報告: 需要に関するヒアリング結果

## スポーツ興行関係者

### スポーツ興行に必要な機能

- ・ VIPルームの演出性、飲食の充実を図ってほしい。
- ・ スポーツの試合としてはコート四方を囲む口の字型のアリーナ客席形状が望ましいが、エンタメ興行利用のニーズについても理解する。
- ・ サイトラインはしっかり確保してほしい。コートと客席の近さも観客の満足度に直結するため、大切にしてほしい。

### 試合・練習での利用想定

- ・ リーグ戦30試合のうち6割を本拠地で実施する規定だが、8割ここでやりたいと考えている。
- ・ リーグ戦以外にはプレシーズンマッチ、ファンイベント等が想定される。天皇杯等の試合に手をあげることも可能。
- ・ 現在は市内外の体育館を使用しているが、優秀な選手を獲得するため、トレーニング設備のある専用練習場を設ける必要性を感じており、新施設が毎日の練習拠点とはなりにくい、サブアリーナを練習の場として使うことはできる。

# ヒアリングの経過報告：民間活力導入等に関するヒアリング結果

- 民間活力を導入するアリーナ事業の実績を有する設計事業者、建設事業者、運営事業者等を対象に実施
- 主な意見を抜粋

## 対象敷地・立地について

### 前向きな評価・期待

- ・駅に隣接し、空港から近くアクセス良好。施設単体での集客が難しい場合も、バスタ等、駅周辺エリアの開発事業との連携による相乗効果に期待する。(建設)
- ・コンセプトを共有しながら周辺と開発を進めることでポテンシャルが期待できる。(建設)
- ・地下/立体駐車場、駅から雨に濡れない歩行者専用通路等を設置することで、利便性の向上・集客に繋がり、駅前開発との連携に寄与する。(建設)

### 留意すべき点など

- ・敷地規模が限定的である。(設計・建設)
- ・5,000席規模のアリーナの場合、入場者の待機、駐車場、興行での大型車両の寄り付き等のスペース確保が必要であり、他の街区との連携等が必要となる。(設計)
- ・駅から近いが、車での来場も見込まれ、相応の駐車場は必要。(建設・設計・運営)
- ・渋滞が懸念され、周辺道路の計画と一体的に検討する必要がある。(建設・設計)

## 整備・維持管理・運営コストについて

### 前向きな評価・期待

- ・維持管理事業者・運営事業者のノウハウを設計・建設に反映することで利便性・効率性の高い計画が期待できる。(建設)
- ・プロチームの地域での認知度を官民一体で高めることで来場者増・収益性向上、アリーナのブランディングを高めることが期待できる。(建設)
- ・他市でBプレミアム基準を満たすアリーナの運営に取り組む中、年間のホームでの試合は稼働が確定。収益確保には、行政も含め共に地元を支援することが肝要。(建設・運営)

### 留意すべき点など

- ・地下整備/高層化/遮音・振動対策にはコストを十分に見込む必要がある。(建設)
- ・不調も見受けられることから、物価高騰のトレンドを考慮し、建築費、物価スライドの適切な設定が必須。(設計・建設・運営)
- ・Bリーグでの利用がない枠をどのように稼働させるか、他地域でもアリーナが整備されており、すみわけを考える必要がある。(建設・設計)

## 事業手法について

### 前向きな評価・期待

- ・運営事業者が設計から事業に携わることで、維持管理・運営業務の効率化が期待できることから、設計・施工・維持管理・運営一体とする手法が望ましい。(運営)

### 留意すべき点など

- ・全て独立採算事業とすることは難しい。維持管理・運営についても一定の公共負担が前提となる。(設計・建設・運営)

# 文化団体へのヒアリング報告

- ヒアリング団体：劇団2団体、鑑賞団体4団体(映画1団体、舞台2団体、音楽1団体)、その他団体(企画制作、中間支援 等)
- 主な意見を抜粋

## 文化団体から出た意見の概要

### ①活動に必要な施設の機能や規模等

- ・各文化団体が要望するホールの機能や規模は、多種多様。
  - 例▽演劇では、100～200席前後のブラックボックス(席は疲れにくいパイプ椅子で可)がほしい。
  - ▽音楽活動では、200～500席程度のプロセニウム型がほしい。
  - ▽映画鑑賞では、200～300席で、傾斜のある席(可動式で可)のホールがほしい。
  - ▽舞台では、既存施設で対応可能。
  - ▽200～300席の多目的に使えるホールがほしい。
  - ▽600～800席の両袖と幕のあるホールがほしい。
- ・チラシラックやチケットセンターを備えるなど、文化芸術の情報拠点になってほしい。
- ・カフェや図書室など日常的に人が集まる仕組みがほしい。
- ・市民の文化活動をサポートできる人材(アートマネージャー、芸術監督官等)の確保が必要。
- ・託児所の設置や、バリアフリー設計が大事。

### ②その他

- ・文化施設を無理にJR松山駅周辺にアリーナと一緒に造る必要はない。
- ・市民会館の代替施設は、コミュニティセンターなど別の場所で検討すべき。
- ・第二期文化芸術振興計画を踏まえ、松山市全体で文化施設の在り方を考えてほしい。
- ・文化施設については、市民を巻き込んで丁寧に検討を進めてほしい。

## 意見等を踏まえた対応方針

分類		内容	対応方針
1. 施設の概要	規模	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Bリーグの会場として5,000席規模のアリーナは必要として、興行の観点からの検討も必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンサートでは8,000席程度必要であるというご意見を踏まえ、できる限りの席数の確保を検証している。ただし、実際の規模については、今後の事業者提案等を受けて、本敷地にとって適切な規模を検討したい。</li> </ul>
	仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5,000席のアリーナは全国で作られているため、現時点の想定をたたき台にし、知恵を出しながら、松山にしかない施設の特徴を出すのが良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な動線、最適なゾーニングについて検討中である。</li> <li>・選ばれる施設となるよう、ハード、ソフトの両面で、近隣アリーナと違う特徴を備えていきたい。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・観客に使いやすく設計すべきであり、観客の動線や物販スペースの確保も重要である。</li> <li>・イベント企画者が使いやすいように、搬出と搬入が素早く行える施設にすることが大切である。</li> </ul>	
2. 敷地の外部環境	周辺エリア等との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本敷地は面積的に素早い搬入・搬出が厳しい可能性があるため、周辺の活用も踏まえた工夫をするべきである。</li> <li>・候補地だけでなく、他のエリアとの連携の検討が必要である。さらに、駅周辺だけでなく、市内全域を視野に入れたまちづくりの観点が大切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺の土地の活用も視野に入れ、関係者等と協議を進める。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツイベント等で集客した場合、周辺の宿泊施設の検討も必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺に宿泊施設があることで、イベント誘致の可能性が広がり、稼働率の向上にも繋がると考えている。周辺地域での民間による宿泊施設の誘致を目指したい。</li> </ul>
	立地・交通アクセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場の配置や周辺の道路網の検討が必要である。</li> <li>・松山駅近くなのに車が前提でいいのか。JRの駅前という立地条件を最大限に活かすための必要な機能について、話し合う必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅周辺という立地であることから、車を持たない方でも容易にアクセスできるだけでなく、公共交通の利用を促し、道路の混雑緩和が期待できると考えている。一方で、一定数の駐車場も必要であるため、周辺の土地の活用も視野に入れ、関係者等と協議を進める。</li> </ul>

## 意見等を踏まえた対応方針

分類		内容	対応方針
3. 施設の利用見込	稼働率	・建築後の利用や運営を考慮することが重要である。	・需要調査や事業者提案等を踏まえ、最適な施設の規模や運営方法を検討する。また、地域の力も借りながら日常的な賑わい創出も目指したい。
		・Bリーグがない時期のイベント誘致については、都市間・施設間競争も踏まえて選ばれる施設を目指す必要がある。	・選ばれる施設となるよう、ハード、ソフトの両面で、近隣アリーナと違う特徴を備えていきたい。
	地域活動の活性化	・人口減少が進む中での地域活性化には、交流人口や市民のコミュニティの場が必要であり、そのためには文化とスポーツが垣根を越えて力を合わせるべきである。 ・地元企業が参画しやすい事業にする必要がある。	・市民が様々な目的で利用できるよう、多目的な仕様としたい。運営面でも地元企業の参入を促し、地域経済の活性化を目指す。
4. その他	市民会館機能	・市民会館閉館に伴う市民活動の場が無くならないようにしてほしい。	・将来的に必要な機能は引き続き検討していく。
	公民連携	・内閣府の「スタジアム・アリーナに係るコンセッション事業活用ガイドライン」における15の論点を踏まえて検討すること。	・15の論点を踏まえ、検討を進める。